

今回見学した授業は、2021年度春期開講の「キャリア開発演習Ⅱ(4単位)」であり、伊勢崎キャンパス所属の就職活動中の4年生約10名を対象としたものであった。この授業は狩野直樹先生が『成功する！公務員の面接採用試験'22年版』を教科書として1コマ90分間で面接対策を行うものであった。全面的オンライン授業期間であることから受講生全員がZoomによる出席であり、私もZoomによる見学であった。以下、今回の授業見学で学んだことについて述べる。

今回の授業見学で、あらためて認識させられたのは、公務員試験対策授業は完結型であるということである。つまり、1コマ90分間の間に、教科書を読むこと・理解すること・暗記することが組み込まれている。よって、教員としては、受講生が事前に教科書を予習して一定の理解は進んでいるということは期待せず、すべての問題は受講生にとって初見であるという前提で扱うべきである。従って、初めて教科書を読む際の難しい漢字の読み方や用語の説明も必要であり、理解および暗記の時間も十分に確保する必要がある。ここで陥りやすいのは、暗記の前の、理解する時間を十分に確保しないことである。受講生にとって、理解しないまま、機械的に丸暗記するのは忘れやすく効率が悪い。必ず理解してから、暗記するべきである。今回授業を担当した狩野先生は徹底して指定メソッドに従い面接対策を行っていた。ただ何度か総長先生から、暗記の前の理解の時間の確保について指示が入った。それ以降は、狩野先生は問題なく適切に解説し、理解と暗記の両方の時間を十分に設定していた。私の場合は、どうしても自分の発言の仕方や内容に意識が集中してしまい、理解と暗記の時間確保のタイムマネジメントがうまくいかないため、今後は十分に気を付けるべきであると思わされた。

今回、狩野先生の授業を見学して、公務員試験対策授業は完結型であることを再認識した。それを強く意識し、以降の授業で、しっかりと対応していきたい。